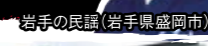


# 日本の祭り

## 絆

震災からの復興  
感謝の気持ちを  
踊りにこめて



※写真はすべてイメージ写真です

平成22年

日付 9月25日(土)・26日(日)

会場 メイン会場…新潟市産業振興センター  
サブ会場…新潟ふるさと村

交通 東京から JR 上越新幹線 / 約2時間 (最速約1時間40分)  
車 関越自動車道 / 約4時間 (線馬IC~新潟西IC)

主催：財団法人地域伝統芸能活用センター、新潟県、新潟市  
共催：「うまさぎっしり新潟」観光推進協議会  
後援：国土交通省、観光庁、経済産業省、文化庁、農林水産省、総務省、日本政府観光局(JNTO)、NHK  
助成：日本財団  
協力：(社)日本観光協会、(社)全日本郷土芸能協会、東日本旅客鉄道株式会社、全日本空輸株式会社、株式会社日本航空インターナショナル

日本財団は、地域伝統芸能活用センターが行う「地域伝統芸能の普及・発展のための事業」を支援しています。

### 日本財団の事業

◆社会福祉・教育・文化などの活動への支援  
障害者の自立支援、改修などによる福祉拠点の整備、福祉車両の配備、ホスピスの充実、子どもの健全育成、環境保全、災害援助、芸術文化や生涯スポーツの推進、犯罪被害者支援など、各地域に密着した活動を支援しています。

◆海や船に関わる活動への支援  
海や船についての研究開発、航海の安全など海洋をめぐる諸問題の解決や施策の提言、青少年への海事知識の普及活動などを支援しています。

◆海外における人道活動や人材育成への支援  
国際機関、各国政府、NGOなどと協力し、貧困、飢餓、病気など、人々が直面する基本的諸課題の解決を目指すほか、社会発展を担う人材の育成とネットワーク構築に向けた活動を支援しています。

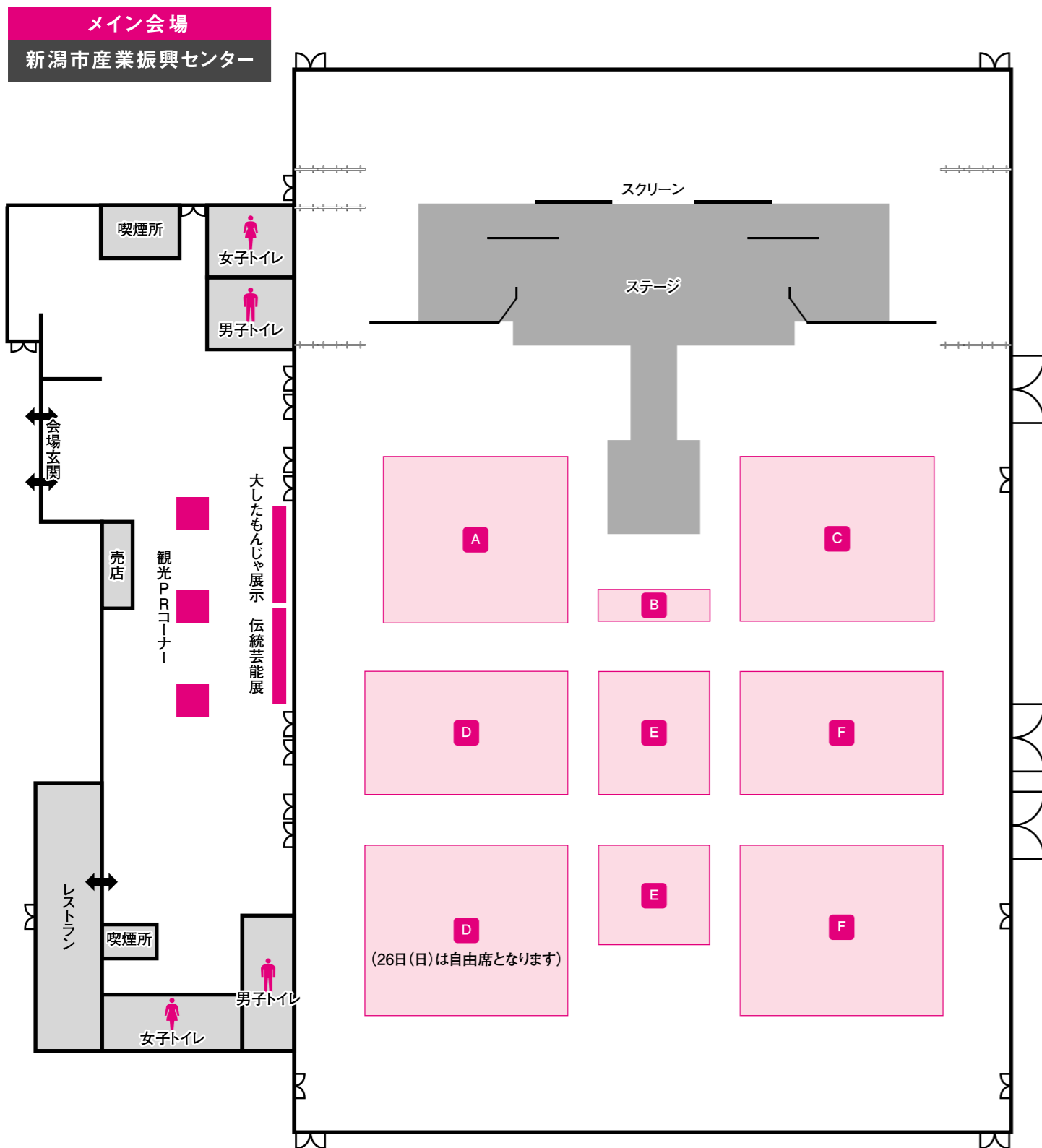
あなたが動けば、社会は変わる。

「公が民を支える」時代から「民が民を支える」時代へ。その社会づくりに欠かせないのが「あなたの参加」です。日本財団の支援は、申請(応募)によるものなので「あなたの動き」で、支援を受けて「誰もが住みやすい社会」を作ってほしい。また「あなたの動き」で夢の貯金箱による新しい寄付文化を根付かせてほしいという願いを込めて「あなた」を強調したキャッチコピーです。



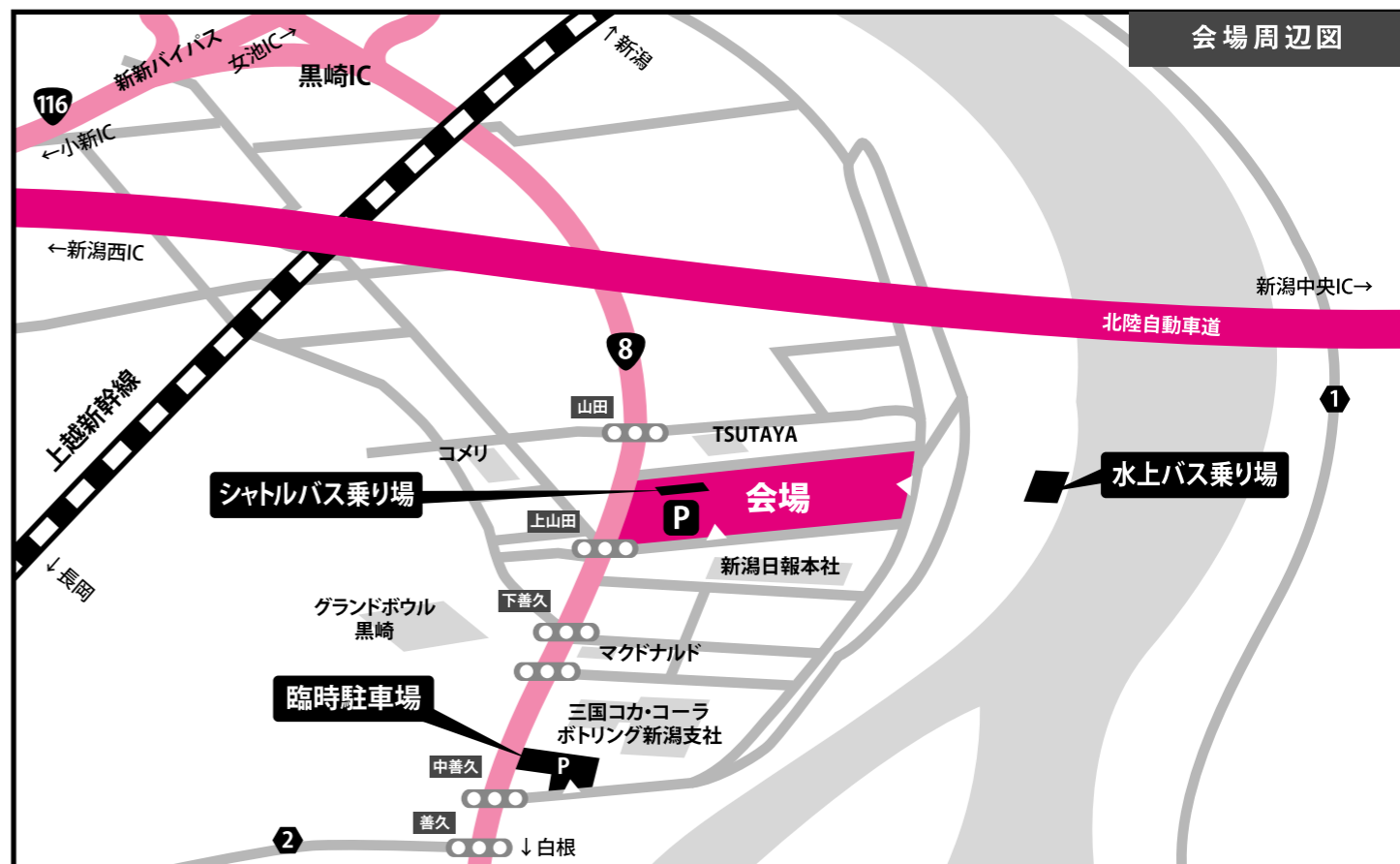
日本財団は、ポートレースの売上を財源に公益活動を推進しています。

ふるさと新潟 2010



ご観覧上の注意

- 満席のため、会場内は相当な混雑が予想されます。会場内の係員の指示に従い、空けずに詰めてお座りください。
- 荷物等は、座席に置かず足元に置いてください。
- 会場内での喫煙・フラッシュ撮影・携帯電話のご使用及び飲酒は固くお断りします。
- 会場内で係員の指示・注意事項に従わない場合は退場していただくことがあります。
- ごみはお持ち帰り願います。



[メイン会場] 新潟市産業振興センター

9月25日(土) [13:00~17:30]

- 入口にて
- 13:00 ○**歓迎デモンストレーション**  
●新潟万代太鼓(新潟県新潟市)
- 展示ホールにて
- 13:30 ○**開催記念式典**  
●高円宮殿下記念地域伝統芸能賞等表彰式
  - 14:30 ○**地域伝統芸能公演**  
●新潟万代太鼓(新潟県新潟市)  
●山古志の牛の角突き(新潟県長岡市)  
(闘牛の紹介・ふれあいコーナー設置)  
●長崎くんち龍踊(長崎県長崎市)  
●魚津たてもん(富山県魚津市)  
●新居浜太鼓祭り(愛媛県新居浜市)  
●綾子舞(新潟県柏崎市)  
●アイヌ古式舞踊(北海道むかわ町)  
●権現舞<早池峰岳神楽>(岩手県花巻市)  
●岩手の民謡(岩手県盛岡市)  
●津軽三味線(青森県弘前市)  
●韓国伝統芸能(韓国)  
●中国伝統芸能(中国)  
●ロシア伝統芸能(ロシア)
  - 17:30 ●新潟甚句(新潟県新潟市)

9月26日(日) [11:00~16:15]

- 展示ホールにて
- 11:00 ○**地域伝統芸能公演**  
●花笠踊り小獅子舞(新潟県佐渡市)  
●郡上おどり(岐阜県郡上市)  
●巫女翁人形操り(新潟県小千谷市)  
●魚津たてもん(富山県魚津市)  
●権現舞<早池峰大償神楽>(岩手県花巻市)  
●鬼太鼓(新潟県佐渡市)  
●エイサー(沖縄県沖縄市)  
●越後長岡の和太鼓(新潟県長岡市)  
●小倉祇園太鼓(福岡県北九州市)  
●新居浜太鼓祭り(愛媛県新居浜市)  
●ロシア伝統芸能(ロシア)  
●中国伝統芸能(中国)  
●韓国伝統芸能(韓国)  
●新潟下駄総踊り・  
永島流新潟樽砵(新潟県新潟市)
  - 16:00 ○**フィナーレ**

※両日ともに、都合により開催時間、出演者(演目)の変更が生じる場合があります。

[サブ会場] 新潟ふるさと村

入場自由

9月25日(土) [11:00~15:30]

- 屋外特設ステージにて
- 11:00 ○**オープニング**
  - 11:10 ○**地域伝統芸能公演**  
●エイサー(沖縄県沖縄市)  
●鬼太鼓(新潟県佐渡市)  
●仮山伏の棒使い(新潟県妙高市)  
●棧俵神楽(新潟県新潟市)  
●三条神楽(新潟県三条市)  
●岩戸舞(新潟県長岡市)  
●鞍馬<早池峰大償神楽>(岩手県花巻市)  
●新潟古町芸妓(新潟県新潟市)  
●小倉祇園太鼓(福岡県北九州市)  
●郡上おどり(岐阜県郡上市)  
●巻やかた竿燈(新潟県新潟市)  
●新潟下駄総踊り・  
永島流新潟樽砵(新潟県新潟市)
  - 15:30

司会



なしもと みわ  
梨本 美和  
イベント司会、リポーター

※両日ともに、都合により開催時間、出演者(演目)の変更が生じる場合があります。

9月26日(日) [11:00~16:00]

- 屋外特設ステージにて
- 11:00 ○**地域伝統芸能公演**  
●新発田台輪[木遣・お囃子の演奏]  
(新潟県新発田市)  
●アイヌ古式舞踊(北海道むかわ町)  
●ロシア伝統芸能(ロシア)  
●中国伝統芸能(中国)  
●韓国伝統芸能(韓国)  
●長崎くんち龍踊(長崎県長崎市)  
●諷誦の舞<早池峰岳神楽>(岩手県花巻市)  
●岩手の民謡(岩手県盛岡市)  
●津軽三味線(青森県弘前市)  
●棧俵神楽(新潟県新潟市)  
●小栗山不動院獅子舞(新潟県見附市)  
●綾子舞(新潟県柏崎市)  
●新津松坂(新潟県新潟市)  
●新潟万代太鼓(新潟県新潟市)  
●新潟甚句(新潟県新潟市)  
●巻やかた竿燈(新潟県新潟市)
  - 16:00

ふれあいコーナー

山古志の牛の角突き(新潟県長岡市)

1階コンコース内

「観光展」

県内観光情報、県外出演団体の地元観光情報の提供

「新潟県伝統芸能展」

新潟県内の地域伝統芸能・地元のお祭りに関する資料等を展示

会場入口

「魚津たてもん」

展示・曳き廻し実演

司会



みやかわやすお  
宮川 泰夫

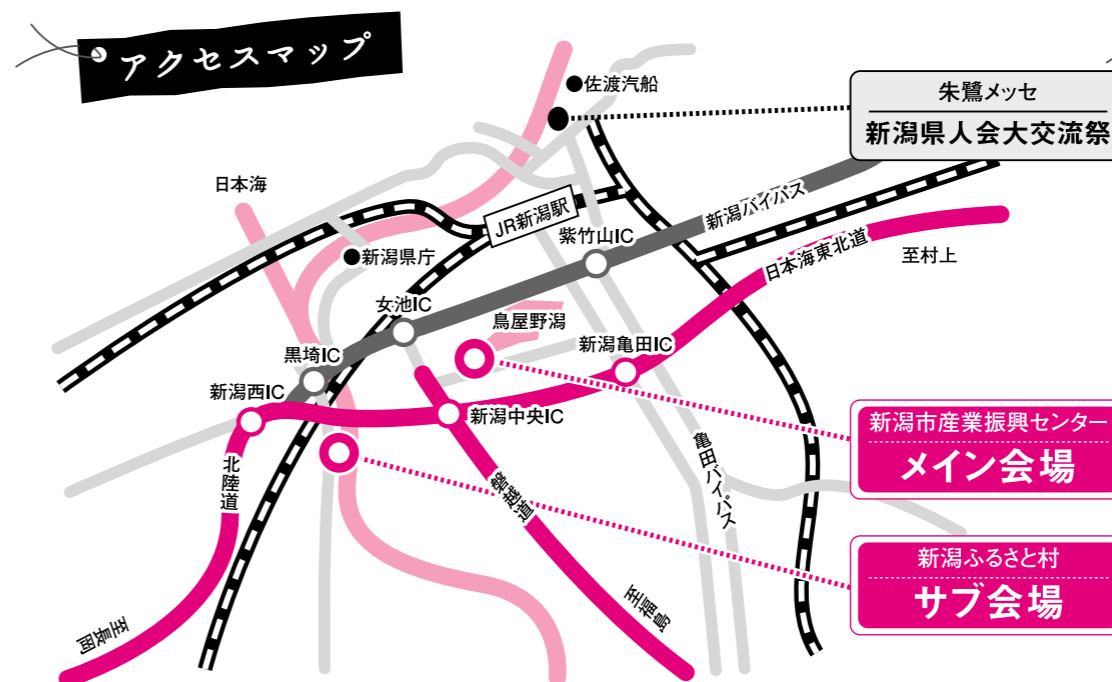
【経歴】  
1945年 新潟県柏崎市生まれ、東京育ち。  
1968年 東京大学文学部社会学科卒業  
同年 NHK入局 長崎・帯広・福島・仙台での勤務を経て、86年より東京アナウンス室勤務。  
1993年4月~2005年3月「のど自慢」司会を12年間務める。  
2005年 定年退職。その後もNHK「ラジオ深夜便」「歌の散歩道」を担当。  
■司会  
2008.11 「第23回国民文化祭-いばらき2008 開会式」 総合司会  
「モノ作り・人作り全国フォーラムin東京」「モノ作り・人作り地域フォーラム」など多数  
■コーディネーター  
2010.02.27 新潟アジア国際音楽祭  
「シンポジウム」~音楽・文化による復興支援の可能性を探る~



まついひろえ  
松井 弘恵

【経歴】  
●新潟県新潟市出身  
●名古屋学院大学外国語学部英米語学科卒業  
新潟県内のコミュニティFM局アナウンサーを経て、  
2003年よりフリーアナウンサーとして活躍。

■司会  
トキめき新潟国体 開会式、閉会式



シャトルバス & 水上バス運行!

無料シャトルバス、水上バスの詳しい運行スケジュールは下記サイトをご覧ください。

<http://matsuri2010.jp/m/index.html>



## 開催記念式典

会場：新潟市産業振興センター／9月25日(土)13:30～14:15

### 式次第

開 会	
主催者挨拶	財団法人地域伝統芸能活用センター会長
歓迎挨拶	新潟県知事
歓迎挨拶	新潟市長
お 言 葉	高円宮妃殿下
来賓挨拶	国土交通大臣
来賓挨拶	経済産業大臣
登壇者紹介	
	高円宮殿下記念地域伝統芸能賞、地域伝統芸能大賞、奨励賞 表彰式
閉 会	

## 平成22年度 高円宮殿下記念地域伝統芸能賞受賞者

はやちね かぐら ほぞんかい

### 早池峰神楽保存会

早池峰岳神楽保存会、早池峰大償神楽保存会

岩手県 花巻市

早池峰神楽は大償(おおつぐない)と岳(たけ)の2つの神楽座の総称。記録資料等は現存していないが、岳の早池峰神社に文禄4年(1595)と記された獅子頭があることや、大償に早池峰山の修験先達をつとめた山陰家から伝えられたということから、その初源は南北朝時代にまで遡り、500年以上の伝統をもつ神楽であると言われている。

早池峰神楽(岳神楽、大償神楽)は、神楽の中でも卓越した技量を有しており、後継者不足という危機的な状況を乗り越えて、後継者の育成に努め、今日まで受け継がれており、平成21年9月には国連教育科学文化機関(ユネスコ)の無形文化遺産の代表リストにも登録され、地域文化の活性化や観光の振興に大きく貢献している。



## 平成22年度 地域伝統芸能大賞受賞者

### ●保存継承賞 [地域伝統芸能の実演に係わる団体又は個人]

うおつ た て も ん ほぞんかい

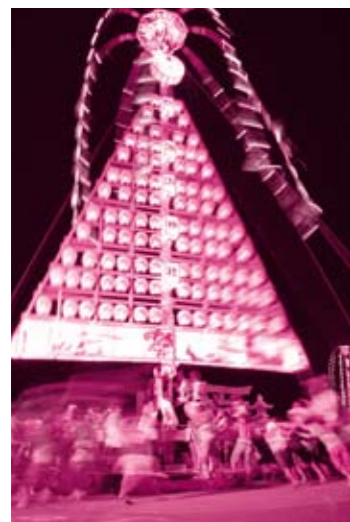
### 魚津たてもん保存会

魚津たてもん

富山県 魚津市

毎年8月第1金・土曜の2日間、漁夫の官である諏訪神社では「たてもん祭り」が勇壮・華麗に行われる。この祭りは魚津市の「じゃんこい魚津祭り」の一環として市外県外から多数の観光客を呼んでいる。約300年前から受け継がれている「たてもん祭り」は、豊漁と航海安全を祈願して、贄(供え物)を神前にたてまつる(奉納)ことからきたと言われている。船を見立てたそり台の中央に高さ16mの心棒を立て、約80～90個の提灯を帆の形に飾り付けた「たてもん」は、総重量約5tにも達し、氏子7町内会(各町が1基を管理・保存)が1基あたり80名の人々が威勢よく引き廻す。

魚津たてもん保存会は、昭和50年の発足以来、その継承に努力を続けており、関係7町会をまとめ、青年団による笛・太鼓の後継者育成練習会や町内会による提灯、縄、下額等の準備等を行うことにより、町内一丸となって祭りを盛り上げるなど、保存継承を通じて地域の活性化に貢献している。



### ●活用賞 [地域伝統芸能を活用した行事の実施主体]

にい は ま し た い こ ま つ り す い し ん い い かい

### 新居浜市太鼓祭り推進委員会

新居浜太鼓祭り

愛媛県 新居浜市

新居浜太鼓祭りは毎年10月愛媛県新居浜市で開催される。現在5地区(川西・川東・川東西部・上部・大生院地区)で、総台数51台の太鼓台が参加している。瀬戸内海沿岸にある数多い太鼓台の中でも新居浜太鼓台は豪華絢爛、勇壮華麗な「男まつり」の主役として全国的に有名である。全市的な取り組みを図るため、新居浜市太鼓祭り推進委員会は、市議会、連合自治会、警察、行政、各地区太鼓台運営委員会、商工会議所、神社庁、氏子総代会、観光協会などの代表で組織されており、太鼓台の平和運行や観光客の歓迎ムードを盛り上げるための諸事業を行い、行事の観光資源としての活用を努めている。

### ●支援賞 [衣装、用具等の製作、人材等の確保に関わる団体又は個人]

た な か つ ね じ

### 田中 常治氏

「龍踊(じゃおどり)」の龍体の製作

長崎県 長崎市

長崎市では、毎年10月7～9日に「長崎くんち」が諏訪神社秋の祭礼として行われ、各町会から様々な奉納芸能が繰り広げられ、大変賑わう。社前の広場では、唐人おどりなど長崎ならではの異国情緒を感じさせる芸能があるが、なかでも全国的に最も人気があるのが「龍踊(じゃおどり)」で、江戸時代から始まっている。

田中常治(つねじ)氏(81歳)は、龍踊りの「龍体」の製作者として、昭和27年(1952)から製作に携わり、この50年以上の間、布と和紙を接着材で固める方法を考案するなどしながら、200体以上の龍体を製作し、加えて、獅子舞の獅子、猪の面なども製作している。この活動により同氏は、龍踊りの保存継承や長崎の観光振興に大いに貢献している。



### ●地域振興賞 [その他特に顕著な貢献のあったもの]

にい が た し み ん よ う れ ん め い

### 新潟市民謡連盟

大民謡流し

新潟県 新潟市

毎年8月に開催される、新潟まつりのメイン行事の一つが「大民謡流し」。市内のメインストリートにおいて1万4千人の踊り手が「新潟甚句」を踊る。多数の踊り手が一同に会って踊るまつり行事としては日本一と言われている。新潟市民謡連盟は昭和30年より参加し、毎年新潟まつり「大民謡流し」の運営主体を担っているほか、新潟市内での「芸能まつり」の開催や県外活動など「新潟甚句」の普及に広く取り組んできた。平成17年に設立50周年を迎え、現在、市内の民謡団体59団体が加盟し、会員数は800名以上と市内随一の音楽芸能団体となっている。このような活動を通じて、政令指定都市新潟市における観光及び商工業を通じた地域振興に大いに貢献している。



## 平成22年度 地域伝統芸能奨励賞受賞者

ふ く だ こ う へ い

### 福田 廣平氏

民謡の歌唱、保存育成等

岩手県 盛岡市

福田廣平氏は、「よしゃれ節」と「外山(そとやま)節」のふるりに生まれ育ち、祖父母の膝や背中であらゆる唄を、地域の伝統と認識し、継承活動に積極的に取り組んでいる。

民謡以外にも「さんさ踊り」などの郷土芸能を地区住民と共に掘り起こし、舞台上に押し上げるよう努めている。また、多くの民謡大会への出場、「渋民荷方(しぶたみにかた)節」、「雲石(しずくいし)よしゃれ節」の保存育成活動、所属する会での後進の育成など、地元根付いた諸活動を行っている。

